曹全碑全文

君諱全,字景完,敦煌效穀人也。其先蓋周之冑,武王秉乾之機,翦伐殷商,既定爾 勳,福祿攸同,封弟叔振鐸于曹國,因氏焉。秦漢之際,曹參夾輔王室,世宗廓土斥(境) 竟,子孫遷于雍州之郊,分止右扶風,或在安定,或處武都,或居隴西,或家敦煌。枝分 葉布,所在為雄。君高祖父敏,舉孝廉,武威长史、巴郡朐忍令張掖居延都尉。曾祖父述, 孝廉、謁者、金城長史、夏陽令、蜀都西部都尉。祖父鳳,孝廉、張掖屬國都尉丞、右扶 風隃糜侯相、金城西部都尉,北地太守。父琫,少貫名州郡,不幸早世,是以位不副德。

君童齔好學, 甄極瑟緯, 無文不綜。賢孝之性, 根生於心, 收養季祖母, 供事繼母, 先意承志, 存亡之敬, 禮無遺闕, 是以鄉人為之諺曰: "重親致歡曹景完。"易世載德, 不隕其名。

及其從政,清擬夷齊,直慕史魚,歷郡右職,上計掾史,仍辟涼州,常為治中、别駕。 紀綱萬里,朱紫不謬。出典諸郡,彈枉糾邪,貪暴洗心,同僚服德,遠近憚威。

建寧二年,舉孝廉、除郎中、拜西域戊部司馬。时疏勒國王和德,弑父篡位,不供職 貢。君興師征討,有吮膿之仁,分醪之惠。攻城野戰,謀若涌泉,威牟諸賁,和德面縛歸 死。還師振旅,諸國禮遣,且二百萬,悉以簿官。

遷右夫風槐里令,遭同產弟憂,棄官。續遇禁网(冈),潜隱家巷七年。光和六年,復 舉孝廉。七年三月,除郎中,拜酒泉祿福長。訞賊張角,起兵幽冀,兗、豫、荊、楊同時 并動。而縣民郭家等復造逆亂,燔燒城寺,萬民騷擾,人褱不安,三郡告急,羽檄仍至。 于時聖主諮諏,群僚咸曰:君哉!轉拜郃陽令,收合餘燼,芟夷殘迸,絕其本根。遂訪故 老商量儁艾王敝、王畢等,恤民之要,存慰高年,撫育鰥寡,以家錢糴米粟,賜癃盲。

大女桃婓等,合七首藥神明膏,親至離亭。部吏王宰、程横等,賦與有疾者,咸蒙瘳 馂。惠政之流,甚於置郵,百姓繈負,反者如雲。戢治廧屋,市肆列陳。風雨時節,歲獲 豐年,農夫織婦,百工戴恩,縣,前以和(河)平元年,遭白茅谷水害,退於戊亥閒,興 造城郭。

是後舊姓及修身之士,官位不登。君乃閔縉紳之徒不濟,開南寺門,承望華嶽,鄉明 而治。庶使學者李儒、樂規、程寅等,各獲人爵之報。廓廣聽事官舍,廷曹郎閤,升降揖 讓朝覲之階。費不出民,役不干時。

門下掾王敝、錄事掾王畢、主簿王歷、戶曹掾秦尚、功曹史王顓等,嘉慕奚斯,考甫 之美,乃共刊石紀功。其辭曰: 懿明后,德義章,貢王廷,征鬼方,威布烈,安殊荒。還 師旅,臨槐里。感孔懷,赴喪紀。嗟逆賊,燔城市。特受命,理殘圯,芟不臣,寧黔首。 繕官寺,開南門,闕嵯峨,望華山,鄉明治,惠沾渥。吏樂政,民給足。君高升,極鼎足。 中平二年十月丙辰造。

(注) 漢郃陽令曹全の碑、曹景完碑ともいう。後漢の霊帝中平2年に建碑、明の萬

歴初、陝西省郃陽県に出土した。

文字はほぼ完全で彫銹も絶佳なため、古来より隷書の模範として最も珍重された。 殊に我国では隷書といえば曹全碑というほどで、隷書の祖師というべきである。

「中日大辭典」の題字は、昭和17年大阪駸々堂書店の昭和新選碑法帖大観第2輯 第7巻漢曹全碑から採ったものである。